

市長提案説明要旨

平成30年8月31日

本日ここに平成30年第3回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

《はじめに》

この7月、広島県や岡山県、愛媛県など西日本を広域で襲った記録的な豪雨は、堤防の決壊による河川の氾濫や土砂災害などを各地で引き起こし、死者・行方不明者合わせて230人を超える大惨事となりました。

ここに、お亡くなりになられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災をされました皆様に心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

今年は、台風の発生領域での海面水温が高く、台風がしやすい状況になっていることもあり、例年になくハイペースで台風が発生しています。今後も本格的な台風シーズンが続きますので、市民の皆様には、日頃からの心構えと備えをお願いいたします。

《事業の概要等》

続いて、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

(スポーツでつながるまちづくり)

いきいき茨城ゆめ国体のリハーサル大会となる全国社会人サッカー選手権大会が10月20日から24日まで、卜伝の郷運動公園多目的球技場やカシマサッカースタジアムなど5会場で開催されます。

全国から32チームが参加し、鹿嶋市で24試合、ひたちなか市で8試合が行われ、選手や関係者など大勢の来場が見込まれます。国体開催を見据え、大会運営能力の向上を図るとともに、来場者に対するおもてなしや本市の魅力のPRを図ってまいります。

東京オリンピックのボランティアについては、大会組織委員会が募集する「大会ボランティア」と東京都及び競技会場が所在する自治体が募集する「都市ボランティア」があり、9月中旬から、大会組織委員会と茨城県において募集が始まります。

茨城県が運営主体となる都市ボランティアについては、スタジアム周辺や鹿島

神宮駅、カシマサッカースタジアム駅、鹿島神宮などにおいて、国内外から訪れる観客などに対する案内や大会の盛り上げなどおもてなしの活動をしていただくため、9月18日から700人程度を募集します。

8月27日には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会鹿嶋市推進協議会「機運醸成・おもてなし部会」の第1回会議を開催し、部員間の情報共有を図るとともに、今後の取り組みなどについて意見交換を行ったところです。

今後、「ボランティア部会」や「大会運営調整部会」においても、多様な視点からのご提言をいただきながら、市内外の多くの皆様の参加が得られるよう、取り組んでまいります。

我らが鹿島アントラーズは、リーグ戦をはじめ、ルヴァンカップ、アジアチャンピオンズリーグ、天皇杯と厳しい日程での戦いが続きます。市民の皆様には、カシマサッカースタジアムでの熱い声援をお願いします。

10月7日の川崎フロンターレ戦では、「ホームタウンデイズ鹿嶋の日」の実施にあわせ、市内小学生3,400人余りによる全校応援事業を行います。

子どもたちには、試合を生で観戦することにより、スポーツの素晴らしさとともに、本市の地域資源である鹿島アントラーズやカシマサッカースタジアムの魅力を感じてほしいと思います。

(未来を創るひとづくり・まちづくり)

この夏は記録的な猛暑となり、気象庁も高温傾向などは今後も増えると警鐘を鳴らす中、適切な室温調整の必要性が高まっています。

市内小学校におけるエアコン整備については、この夏休みに10校の整備が完了し、9月からは全小学校で快適な環境での授業が行われることとなります。

また、小さな子どもたちの体調への影響が懸念されることから、補正予算の専決処分により、波野、三笠、はまなすの各幼稚園へもエアコンを設置しましたので、ご理解をいただきたいと思います。

小学校6年生と中学校3年生の全員を対象に、今年4月に実施された平成30年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

本市においては、小学校、中学校とも、全ての調査科目において、全国平均の正答率と同等もしくは上回る結果となり、中学校では、ここ4年間で一番良好な結果となりました。

この調査結果を分析・活用し、これまで取り組んできた授業改善プロジェクトを一層推進し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげてまいります。

(地域資源を生かしたまちづくり)

本市最大の市民参加イベントである「第28回鹿嶋まつり」と「みんなのひろば2018」が10月27日、28日の両日、カシマススポーツセンターとその周辺で開催されます。

鹿嶋まつりでは、新企画であるハロウィンイベントをはじめ、子どもたちに大人気の「子どもお仕事体験かしまちワーク」や模擬店・物産展、屋外ステージでのキャラクターショーなど盛りだくさんとなっています。

また、今回は、オリンピックや国体に係るPRイベントも同時開催しますので、例年にも増しての盛り上がりを期待しております。

固定概念に捉われない新鮮な視点や行動力、大胆さなどが地域を変える力になると言われておりますが、この8月1日から、本市の地域おこし協力隊として、佐藤 侑奈（さとう ゆうな）さんに活動をいただいております。

観光や商業の振興など地域の活性化に向けて、特に都市圏の若い女性の視点から本市の魅力を掘り起していただき、情報発信を期待しています。

(市民と共に創るまちづくり)

7月10日から8月3日まで、各地区公民館10箇所において市政懇談会を開催し、2期目の市政運営に当たり、私の鹿嶋づくりの考え方や地域の課題などについて、市民の皆様と意見交換を行いました。

中でも、宮中地区賑わい創出事業については、交流機能と歴史資料館の複合的施設の整備に関し、その検討内容と白紙に至った経緯などを説明し、市民の皆様から様々な視点からご意見、ご提言をいただいたところですが、さらに、9月27日に市商工会館、10月3日に大野ふれあいセンターにおいて、市民との意見交換会を開催してまいります。

(住んで安心のまちづくり)

9月に、市勢発展のために多大なるご貢献とご尽力をいただきました高齢者の皆様に、敬意と感謝を表し、長寿と健康をお祝いする「敬老会」を、市内の12小学校区と特別養護老人ホームなどの6施設において、75歳以上の方を対象に実施します。

対象者は、昨年度より607人多い9,715人で、皆様の元気なお姿を拝見し、ともに長寿を喜び合えることを楽しみにしております。

敬老会の開催に当たりましては、地域の皆様に大変なご尽力をいただいておりますが、敬老会が高齢者のみならず、地域の結びつけを深め、地域全体の福祉向上にもつながっていくものとして、ご協力をいただきますようお願いいたします。

8月11日、茨城県・鹿嶋市総合防災訓練が、カシマサッカースタジアム周辺

において、防災機関172組織をはじめ、地域住民など約2,000人が参加し、開催されました。

消防機関や自衛隊、警察などの防災関係機関、医療機関、防災ボランティア、事業者、地域住民の方々が一体となって、救助や救護、避難など様々な応急訓練が実践的に実施され、関係機関相互の協力体制の強化と防災に対する意識の高揚が図られました。

また、9月23日には、鹿嶋市消防ポンプ操法大会を、カシマサッカースタジアム駐車場において開催します。

全国各地で豪雨や地震などにより大きな被害の発生が続いており、いつどこで発災するかわかりません。市民や事業者、行政、防災関係機関と連携を図り、継続的に防災体制の強化を図ってまいります。

7月4日から試験運行を開始したデマンド型乗合タクシーについては、8月24日現在、登録者数は419人、目的施設数は公共施設・民間施設合せて87箇所、延べ利用者数は531人で、1日当たりの平均利用者数は14人となっています。

利用者などから多くのご意見が寄せられておりますが、関係機関や交通事業者、市民などで構成される市地域公共交通活性化協議会で検証をいただき、改善を図ってまいります。

今後も効率的で持続可能な公共交通ネットワークの構築を総合的に進めてまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《決算認定》

次に、本議会で認定をいただく、平成29年度決算についてであります。

一般会計において、歳入総額は、前年度比3.4%減の281億3,859万4千円、歳出総額は、前年度比1.8%増の257億9,975万1千円となりました。

この増減の要因は、歳入では、東日本大震災復興基金（国土交通省分）繰入金などの減、歳出では、茨城国体施設整備事業や小中学校大規模改造事業、屋内温水プール整備事業の増などによるものです。

歳入歳出の差引額は、23億3,884万3千円で、繰越財源を差し引いた実質収支は、22億1,353万円の黒字となりました。

この実質収支額には、東日本大震災復興基金に積み立てる市街地液状化対策工事（復興交付金）の剰余金が含まれていることから、これを除いた額のうち、財政調整基金へ6億6千万円を積み立てし、本年度への繰越金が6億5,353万円となりました。

特別会計は、総計としまして、歳入が1億9,304万4千円減の165億9,767万4千円、歳出が2億671万6千円減の161億4,070万7千円となり、歳入歳出の差引額が4億5,696万7千円の黒字となりました。

引き続き、持続可能で安定的な財政運営ができるよう、行財政改革の取り組みを進め、予算の効率的、効果的な執行を心掛けるとともに、将来を見据えたまちづくりを推進してまいります。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が5件、人事関係議案が3件、契約関係議案が1件、決算認定議案が3件、その他の議案5件、報告議案が1件、合わせて18件であります。

まず、予算関係議案は、平成30年度の一般会計及び特別会計などの補正予算であります。

一般会計補正予算については、平成29年度臨時福祉給付金返還金による臨時福祉給付金事業、放課後児童健全育成事業、鹿島地方事務組合負担金による一般廃棄物広域処理事業、道路維持補修費、市街地液状化対策工事（復興交付金）、小学校施設管理費、茨城国体開催経費、東日本大震災復興基金積立金などを計上しました。

国民健康保険特別会計補正予算については、平成29年度事業費確定に伴う国庫支出金等返還金などを計上しました。

介護保険特別会計補正予算については、平成29年度事業費確定に伴う一般会計への繰出金や国庫支出金等返還金などを計上しました。

下水道事業会計補正予算については、建設改良費などを計上しました。

水道事業会計補正予算については、職員給与費などを減額しております。

人事関係議案は、鹿嶋市教育委員会教育長の任命についてなどであります。

契約関係議案は、高松緑地体育館解体撤去工事請負契約についてであります。

決算認定議案は、平成29年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定についてなどであります。

その他の議案は、鹿行広域事務組合理約の変更についてなどであります。

報告議案は、エアコン整備工事費による幼稚園施設管理費を計上しました平成30年度鹿嶋市一般会計補正予算の専決処分であります。

私の説明は以上で終わりますが、予算、決算以外の議案については、担当の総務部長から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。